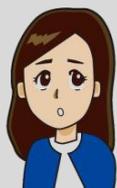


見取りの方法



見取りの方法について教えてください。



見取りの方法については、大きく「ワークシートやノートなどの児童生徒が書いて残したもの」「児童生徒の発言や様子から教師が記録して残したもの」の2つに分けることができます。

■見取りの方法

見取りの方法の例として、以下のものが考えられますが、**児童生徒の実態等に合わせ、いくつかを組み合わせて**評価を行います。

▷児童生徒が書いて残したもの

<p>ワークシート 道徳ノート</p> <p> </p>	<p>授業で扱う道徳的価値について、児童生徒が自分の考えを書くもの。中心発問で考えさせたいことを書かせる、思考ツールを活用して多面的・多角的に考えさせる、終末場面で自己（人間として）の生き方について考えさせることなどを通して、児童生徒の考えやその変容を見取ることができる。児童生徒の考えの内容から授業改善にも生かすことができる。</p>
<p>事前アンケート</p> <p> </p>	<p>授業前に授業で扱う道徳的価値等について、児童生徒がどのように捉えているかの実態を把握し、明確な意図を持って授業を構想することができる。また、授業の最後に事前アンケートと同じ発問をすることで考えの変容や深まりを見取ることができる。</p>

ワークシートは毎時間の授業のねらいに応じて作成することができるので、ねらいに沿った授業展開ができます。そのため、児童生徒の考えが見取りやすいよさがあります。また、**道徳ノート（マス目、罫線のもの）**は、教師が記述項目（中心発問に対する考え、自己の生き方についての考え等の記述）のレイアウトを決めておくことで、児童生徒の考えの変容を見取りやすく、児童生徒にとっても振り返りをしやすいよさがあります。



▷児童生徒の発言や様子から教師が記録をして残したもの

<p>座席表のメモ</p> <p> </p>	<p>授業中に児童生徒の考えを分類し記号として記録に残したり、メモをしたりして記録に残しておくもの。発問に対する児童生徒の考えが分かる。ワークシートや道徳ノートと合わせて、考えの変容や深まりを見取ることができる。</p>
<p>板書の写真</p> <p> </p>	<p>授業後（または授業中）に板書の写真を撮り、記録として残すもの。発問に対する児童生徒の考えが分かる。ワークシートや道徳ノートの記述と合わせて、考えの変容や深まりを見取ることができる。児童生徒の考えの内容から指導の改善にも生かすことができる。</p>
<p>道徳記録ノート （教師用）</p> <p> </p>	<p>道徳の時間における児童生徒の学習状況を、ノートなどに記録をして残しておくもの。あらかじめ抽出した児童生徒や、特に成長が見られた児童生徒の発言や様子を記録に残しておく。児童生徒が書いたノートやワークシートの記述以外にも、発言、つぶやき、ペアやグループ学習での友達との関わり、役割演技等のパフォーマンス、うなずき、表情などを記録する。そうすることで、児童生徒の学習状況や成長の様子の記録が蓄積でき、大きくくりなまとまりでの評価につなげることができる。</p>

※ は児童生徒の成長の様子が分かるもの、 は指導の改善に生かせるもの